2008年2月
第56号

-Genki Morning Tsushin ver.2-

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！

千葉市美浜区倫理法人会
〒273-0033　千葉県船橋市本郷町460-1-102
県事務局　TEL:047-334-2156　FAX:047-334-9823

自ら掴む経営エッセンス！

（記事：いどばた稲毛♪　渡部成夫`　過去記事も読めます⇒http://idoina.com）

2/5（火）
出席19社19名
（美浜15、他会1、非会員3）

テーマ：『人間取扱説明書と私』
講　師：スーパーバイザー　藤本　定明　氏

Sadaaki Fujimoto

「なかなか聴けない講話」と大絶賛だった藤本氏の講話。

「百聞百見は一験にしかず」

藤本氏は、松下幸之助氏の言葉「百聞百見は一験にしかず」を引き、こう切り出した。「百回見ようが百回聞こうが、やってみなければ何のためにもならぬ」と。

一時は8つの事業に加え、最後のリサイクルショップまでもがうまくいかず、本気で自殺を考えた。20年近く倫理を学び、県幹事長も経験した藤本氏に訪れた苦難だった。だが、「どん底」から這い上がったからこそ、気付けたことがある。

その重要な気付き・倫理の真髄を、藤本氏が語ってくれた。

事業が順調な時には、人の話を聴いているつもり

藤本氏は元々電気屋だった。業界全体が激しい価格競争で、昔ながらの店の多くが倒産した。藤本氏は倫理で時代に即して変化することの重要さを学び、「技術と情熱で勝負を」とカメラ事業に乗り出し、成功する。有頂天になった。これがどん底の始まりだった。次はリサイクルショップだ。

妻には「場所が大事」と言われたが、良い場所がない。結局妥協した場所で開店したが3ヶ月しかもたず、他の8事業も全て不振、藤本氏が自殺を考えたのはこの時だ。倫理では、「妻の言うことは何でもハイ」だ。自分でもそう講話で話し、実践してきたつもりだった。妻に問うと、「38年間、あなたは私に一度も相談をしたことはありませんよ。あなたのは全て報告です」と言われた。

この頃は当然、MSにも行く気がしなかった。講師として全国を回るのも無理だ。だが決心してMSに出た。すると、「今日の講話は私のためにしてくれたのだ」と思った。ところが何度MSに出ても、いつも自分にぴったりの講話だ。おかしい。

商売が順調な時は、講師の批判ばかりしていて、人の話を聴いていなかった。栞12条の心境「大窮地に陥った時こそ･･･一切をなげうって･･･地位も、名誉も、財産も、生命も」に到達して初めて、砂漠に水が沁み込むように、人の話が入ってきた。もう一度、倫理を一から始めよう。栞を読み返すと、内容がどんどん自分に入ってきた。

本気の決心と感謝の心が人生を変えた

藤本氏は決心した。「生まれた時は裸だった。よし、本気になって、自宅も店舗も車も全部捨ててしまおう。17年度末をもって、8事業を全て閉鎖する」。するとどうか。「まことに思いもよらぬ好結果が、突如として現われ（栞12条）」た。

妻には、「地獄の底までついていってやるから心配するな。もっと堂々としてろ」と励まされた。現在取締役の長女からは、「お父さんが探してた物件を見つけたよ！」と電話をくれた。家族の絆を、この時心から大切に思った。

物件のオーナーに電話すると、オーナーは藤本氏のことを知っていた。『職場の教養』を使った朝礼が評判だという。「あんたゲンキの平和堂の藤本さんかい？あんたなら貸す。あんたが条件を持って来なさい」と言ってくれた。ここからはもう、トントン拍子。結局、「何も」売らずに済んだ。

また、今まで「この人にだけは馬鹿にされたくない」と思っていた人がいたが、「その人のおかげで自分はここまで来れたのだ」と感謝した。ふぐは、ふぐだけを水槽に入れて運ぶと、必ず何匹かは死んでしまうという。そこに別の魚を入れると、1匹も死なずに東京に届くそうだ。これを自分に、当てはめるとどうだろうか。嫌いな人を排除しようとしていないだろうか。また、そんな企業が生き残れるだろうか。

今では、前年比売上300%。藤本氏は「3月で64歳になるが、今最高の人生を送っている。そして人は皆違うが、採用も『人間取扱書』をものさしに行えば間違いない。この勉強だけは本物だ」と言い切る。そう、それは『万人幸福の栞』だ。

次回　第864回MS！　2/12（火）6時～7時+朝食会　ホテルニューオータニ幕張（043-297-7777）

テーマ：『二代目社長』　　講師：埼玉県久喜市倫理法人会　副会長　蓮実　久司　氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく